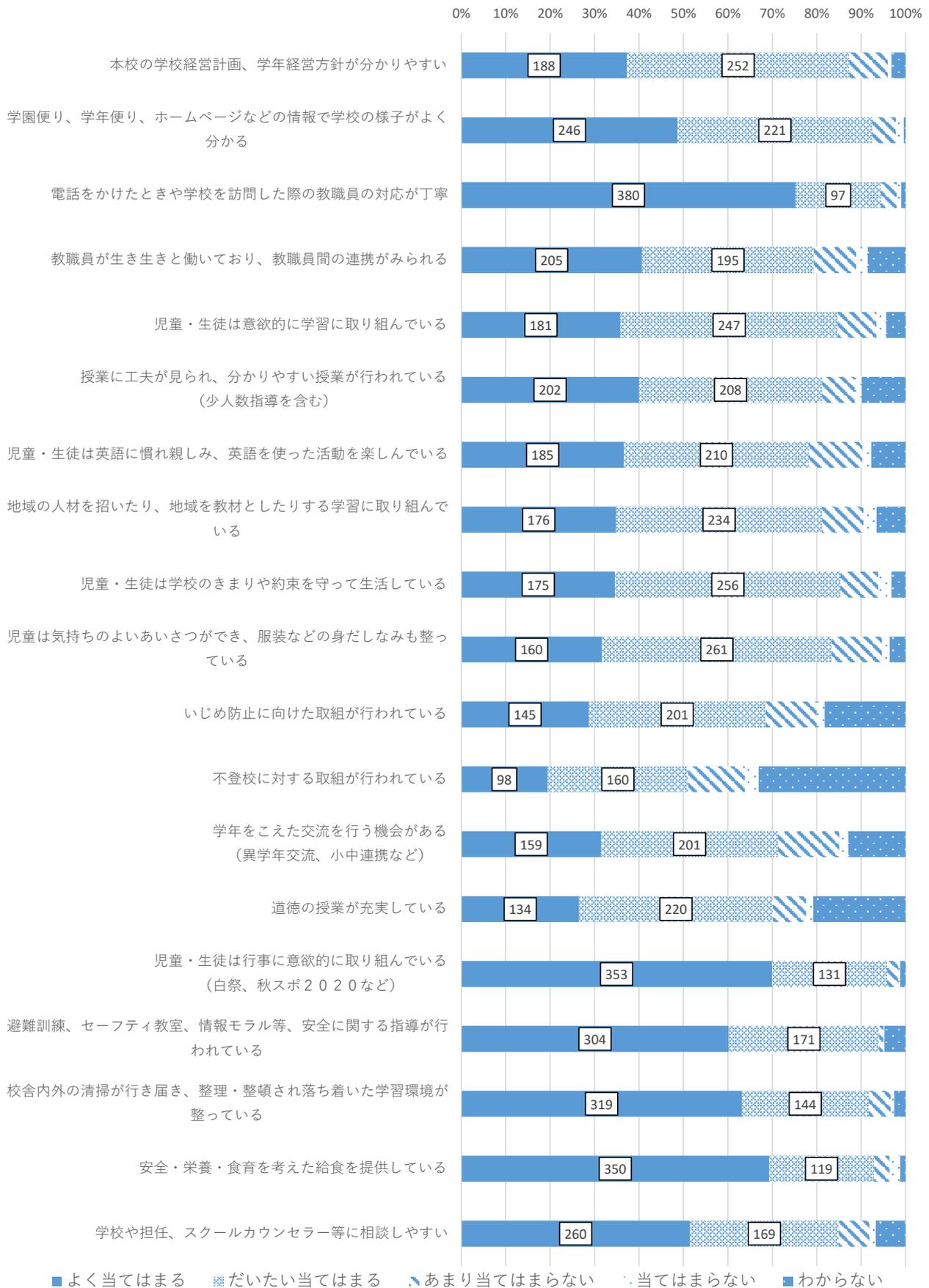
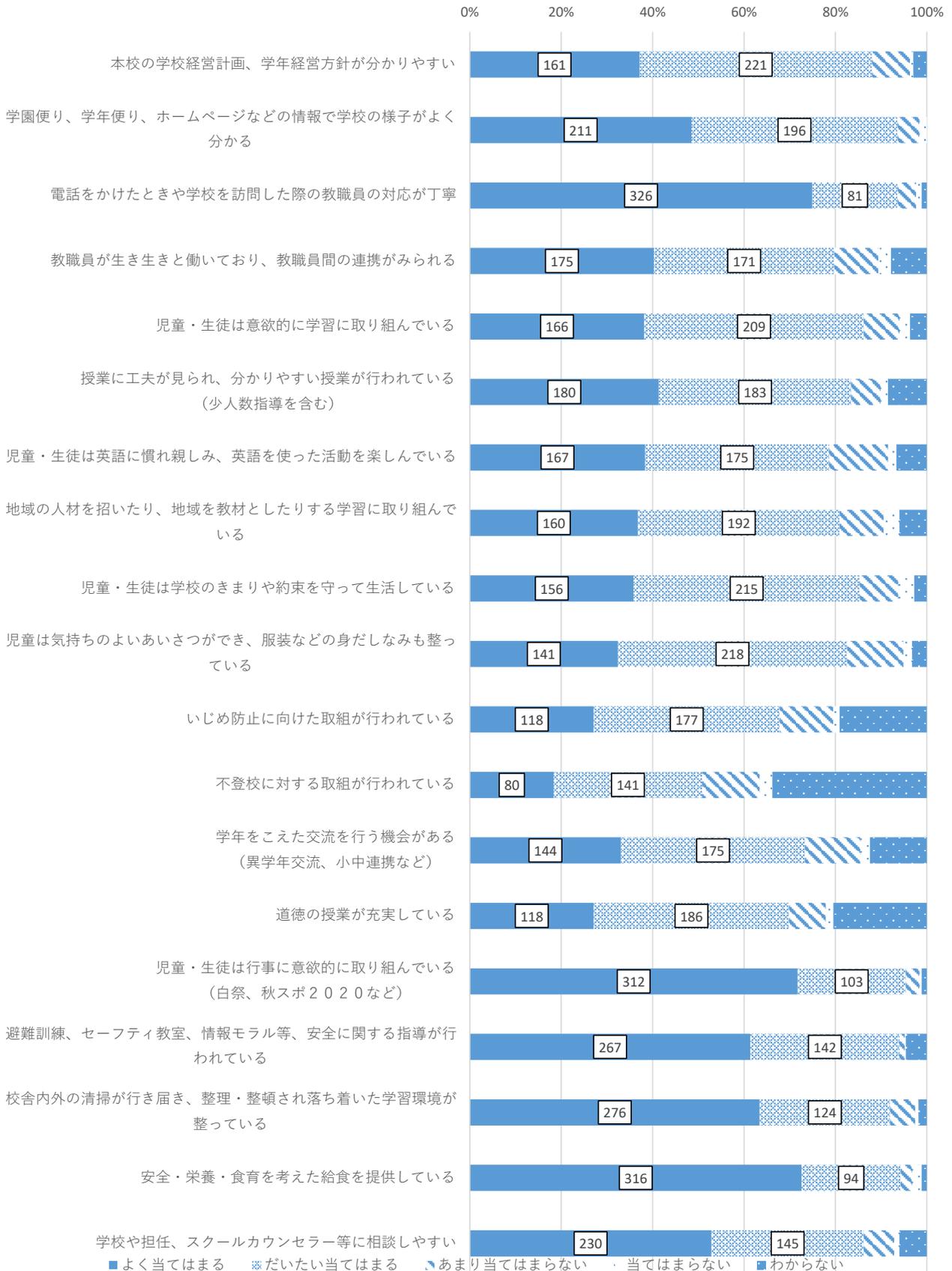


令和2年度 学校評価アンケート 全体集計(回答数505)



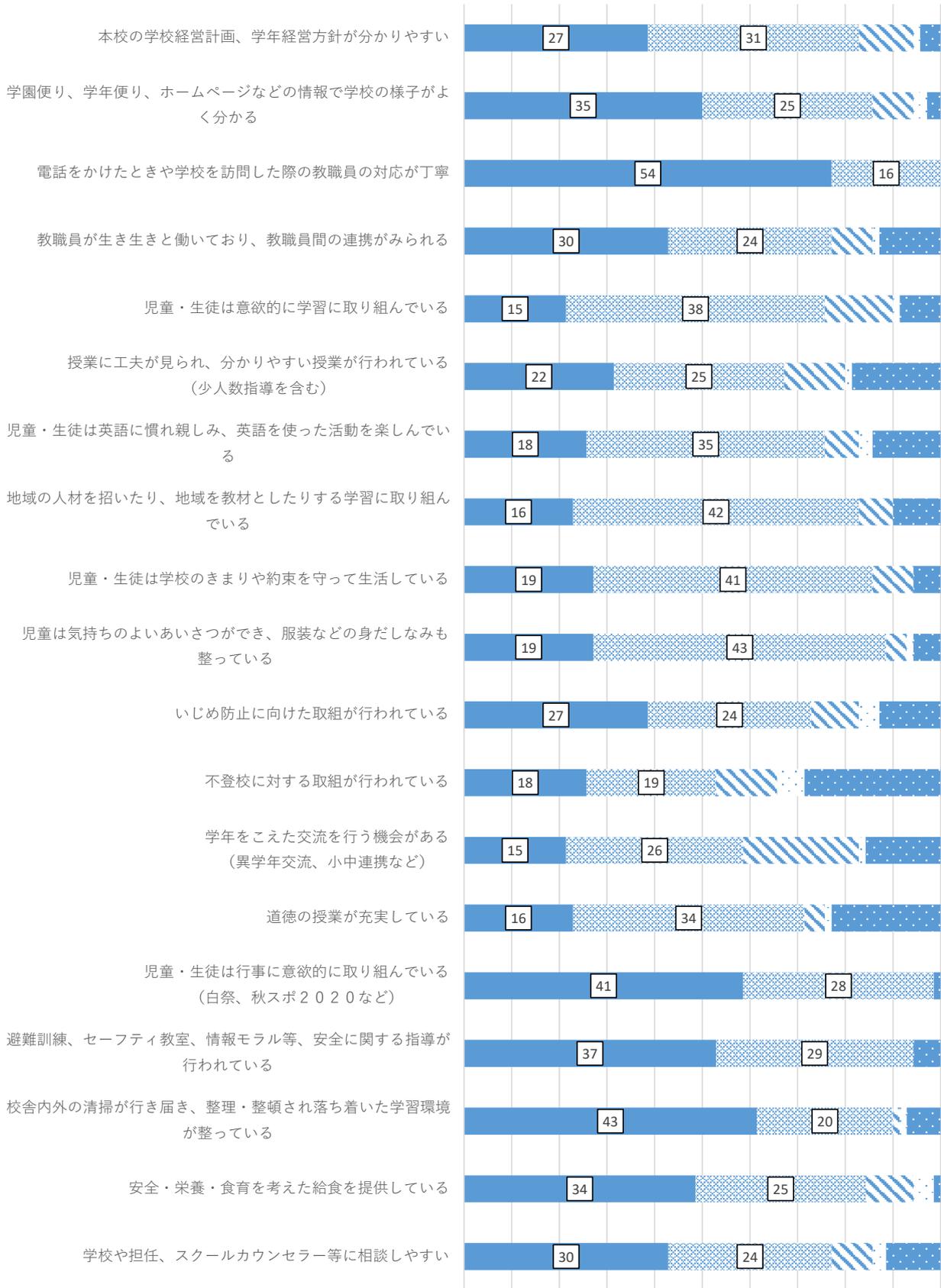
■ よく当てはまる
 ■ (点線) だいたい当てはまる
 ■ (斜線) あまり当てはまらない
 ■ (白) 当てはまらない
 ■ (黒) わからない

令和2年度 学校評価アンケート 小学校集計(回答数435)



令和2年度 学校評価アンケート 中学校集計(回答数70)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■わからない

肯定的な回答が90%以上の項目

	全体	小学校	中学校
学園だより、学年だより等の情報	92.5	93.6	85.7
教職員の対応	94.5	93.6	100
行事への意欲	95.8	95.4	98.6
安全に関する指導	94.1	94	94.3
学習環境	91.7	92	90
給食の提供	92.9	94.3	84.3

肯定的な回答が80%未満の項目

	全体	小学校	中学校
教職員間の連携	79.2	79.5	77.1
英語を使った活動	78.2	78.6	75.7
いじめ防止の取組	68.5	67.8	72.9
不登校に対する取組	51.1	50.8	52.9
異学年交流、小中連携	71.3	73.3	58.6
道徳の授業の充実	70.1	69.9	71.4

考察

○学園だより、学年だより等で情報を伝えることができた。

「学園だより、学年だより、ホームページなどの情報で学校の様子がよく分かる」の回答が92.5%であった。今年度からペーパーレス化への取組の一環として学園だよりの配付をやめ、ホームページに掲載することにした。保護者はホームページで学園だよりを確認し、学校の様子を把握することができたようである。

○行事への取組が高評価であった。

新型コロナウイルス感染防止のため例年通りの学校行事を行うことができなかった。その中で工夫して実施した行事（秋スポ、白祭）に児童・生徒は意欲的に取り組むことができた。保護者に限定公開したことや動画視聴していただいたこと、子どもたちの様子などから、意欲的に取り組む姿を伝えることができた。

○授業等の様子の把握が難しかった。

学園だよりや学年だよりで情報を伝えることができた一方、通常の教育活動を伝えることに課題があった。新型コロナウイルス感染防止のため、学校公開等が中止となった。そのため、授業等を参観する機会がなくなり、通常の授業を見てもらうことができなかった。「英語に親しみ、英語を使った活動を楽しんでいる」の回答78.2%、「道徳の授業が充実している」の回答70.1%は、そのことも影響していると考えられる。なお、学校関係者評価後に道徳授業地区公開講座を実施したが、アンケートでは道徳の授業に対して高評価であった。

○いじめ防止や不登校に対する取組の周知が必要である。

「いじめ防止に向けた取組が行われている」68.5%、「不登校に対する取組が行われている」51.1%であった。当事者でないと取組がわからないことによる結果と思われる。しかし、防止に向けて毎月生活アンケートを実施したり、教育相談を充実させたり、道徳の授業等で取り上げたりしている。これらの取組を周知していく必要がある。

○一貫校としての連携強化に努める。

新型コロナウイルス感染防止のため、異学年や小中学校の交流を控えざるを得ない状況であった。行事を動画で視聴したり、作品を見学したりして、その感想等をカードに記して渡すなどの工夫をしたが、今後も取組の充実が必要である。また、「教職員の対応が丁寧である」は94.5%である一方、「教職員間の連携が見られる」は79.2%であった。児童生徒だけではなく、教職員間の連携を強化していく。